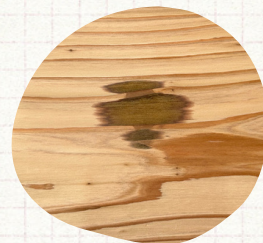


無垢材の床 アルカリ性の染みの落とし方

アルカリ性の液体と木材の中のタンニンという成分が反応し、黒くなる場合があります。
酸性の液体で中和させることで、染みを落とします。

【アルカリ性の染みができる事例】

- ・重曹水やキッチンハイターなどの飛散
- ・漆喰を塗り直している最中の、乾いていない漆喰の付着
- ・焼き物の植木鉢に水が付いたままの放置
- ・緊張状態の動物の汗の付着



準備するもの

- | | |
|-----------------------|----|
| ・お酢または炭酸水（砂糖の入っていない） | 適量 |
| ・水 | 適量 |
| ・ぞうきん | 2枚 |
| ・ゴム手袋（手へのにおい移りが気になる方） | 1対 |



1. お砂糖の入っていない、シンプルなお酢(炭酸水で代用可)をご用意ください。米酢・穀物酢・リンゴ酢でもOKです。

2. ぞうきんにお酢(原液)をたらし、染み部分へ塗り広げ、中和の反応を待ちます。

3. 2-3分程で段々と染みが消えていきます。消えない場合はお酢を少し増やして様子を見てください。※染みの程度により、消える速さやお酢の必要分量が変わります。



4. もう1枚のぞうきんで水拭きをします。お酢を残さないように拭きあげ、乾燥させます。

5. 染みと一緒に汚れも落ちる為、周囲と色ムラができる場合があります。※今回はハイターの染みで撮影をした為、漂白痕が少し残りました。



- ・少量、小範囲でお試しいただいてから、広範囲で実践ください。
- ・染みの性質を見極め、適切な処置を行いましょう。



- ・お酢の場合、掃除した部分から数時間においがしますが、時間が経てば自然に収まります。
- ・床に液体をこぼした際は、アルカリ性に限らず、すぐに拭きあげてください。
- ・重曹などのアルカリ性粉末を床にこぼした際は、掃除機と乾いたぞうきんで対応ください。水拭きを行うと、染みをつける原因となります。